

☑カリキュラム 全8回 (カリキュラムは変更になる場合がございます)

回数	講義内容	個別 カウンセリング	コンピテンシー・ インタビュー
第1回	カバーレター対策①	<p>講師によるカウンセリングを実施します。 1人2回(1回につき30分) ※詳細は第1回の講義時にご説明します。</p>	<p>講師とのコンピテンシー・ インタビューを実施します。1人1回 (30分) ※詳細は第1回の講義時にご説明 します。</p>
第2回	ケーススタディ① 以下のスキルの養成 Part 1: Crisis Management(危機管理) Part 2: Project Planning(プロジェクト立案) Part 3: Logical Thinking(論理的思考)		
第3回	ケーススタディ② 以下のスキルの養成 Part 1: Situation Assessment(状況判断) Part 2: Cost-Benefit Analysis(費用便益分析) Part 3: Brainstorming Basics(ブレインストーミングの基礎) ※ブレインストーミングとは会議などで各人が自由に考え を出し合っ問題解決したり、アイデアを生み出した りする創造能力開発法。		
第4回	カバーレター対策②		
第5回	ケーススタディ③ 以下のスキルの養成 Part 1 Organizational Development(組織開発) Part 2: Action Research(アクションリサーチ) Part 3: Force-Field Analysis(フォースフィールド分析) ※フォースフィールド分析とは、計画が思うように進まない 場合、その原因を人の心に作用する見えない力という 視点で見える化し分析すること。		
第6回	ケーススタディ④ 以下のスキルの養成 Part 1: Corporate Governance (コーポレートガバナンス) Part 2: Risk Management (危機管理) Part 3: Cause-Effect Analysis(原因と結果分析)		
第7回	カバーレター対策③		
第8回	講演「国際機関で働く上で求められる素養やスキルとは」 18:30~20:00 登壇者:勝間 靖先生 総まとめ		

勝間 靖(かつま・やすし) / 早稲田大学国際学術院(大学院アジア太平洋研究科国際関係学専攻)教授、国立国際医療研究センター・グローバルヘルス政策研究所・グローバルヘルス外交ガバナンス研究科長

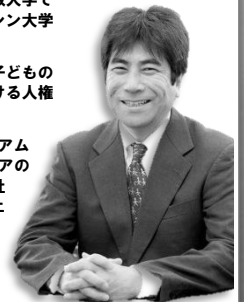
国連開発計画(UNDP)で『人間開発報告書』諮問委員、国際開発学会で副会長、国際人権法学会で理事を務める。

英国プロジェクトのボランティアとしてホンジュラスで活動、海外コンサルティング企業協会の研究員として東南アジア・ロシア極東地域・南米で開発調査、国連児童基金(UNICEF)の職員としてメキシコ・アフガニスタン・パキスタン・東京で勤務した後、現職。

カリフォルニア大学サンディエゴ校留学を経て、国際基督教大学で教養学士号、大阪大学で法学士号と法学修士号、ウィスコンシン大学マディソン校で博士号を取得。

最近の研究関心として、持続可能な開発目標、人間開発、子どもの安全保障、グローバルヘルス外交・ガバナンス、アジアにおける人権などがある。

編著書として、『テキスト国際開発論～貧困をなくすミレニアム開発目標へのアプローチ』(ミネルヴァ書房、2012)と『アジアの人権ガバナンス』(勁草書房、2011)、共編著書として『国際社会を学ぶ』(晃洋書房、2012)と『国際緊急人道支援』(ナカニシヤ出版、2008)がある。また、DVD全3巻から構成される『BBC世界の諸問題と子どもたち～貧困・紛争・暴力にさらされる子どもの権利を考える』(丸善出版、2017)を監修した。



☑使用テキスト (第1回講義時に配布します)

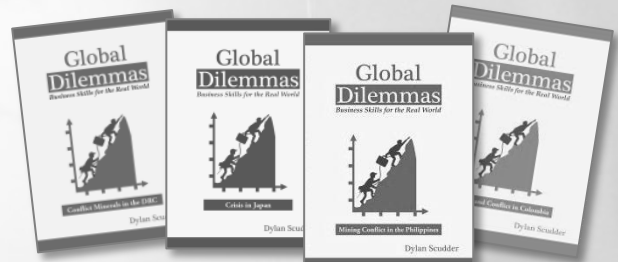
「Global Dilemmas」

Book1:Crisis in Japan

Book2:Conflict Minerals in the DRC

Book3:Coffee and Conflict in Colombia

Book4:Mining Conflict in Mindanao



「グローバル・ジレンマ(Global Dilemmas)」は、特にビジネスについて学びたい英語ノン・ネイティブスピーカー向けに書かれた読者に読みやすいシリーズです。集中的な読書戦略と広範囲な読書戦略を併せて、ビジネスの知識や英語の能力を磨く包括的なアプローチを提供するものです。本リーダーは読者に緊急の決定を必要とする深刻な状況についての事例研究にもとづき、現実のビジネスにおける問題に焦点を当てます。読者はこれらのシナリオから、「勉強」していると意識することなく、豊富なビジネス・ツール、新しい語彙、便利な文法などを学ぶことができます。グローバル・ジレンマは難易度を少しずつ上げながら、ビジネスについて英語による体系的な学びを提供します。このアプローチは基本的に、自身の学びと現実の世界との関連性を理解するときに、読者は課題に対して効果的に取り組むことが可能であるという考え方も基づいています。